

議会に望むこと

鏡石町議会では「開かれた議会」を目指し、町民のみなさんの生の声をお寄せいただいています。今回は、絵本作家の菊地清さんからいただきました。



菊地 清さん

「現場」で学ぶ

私が鏡石町に移住して今年で20年になりますが、豊かな田園と桜並木、里山の風情。創作意欲をかきたてる四季の移ろい。そして「牧場の朝」が流れるのどかな時間。当初のイメージと何ら変わりなくここが我が故郷であることに満足している昨今です。

そのうえで、議会への発言の機会を得ましたので、二点申し上げます。第一点は福祉についてです。本町のみならず、少子化・高

齢化が加速し、施設や体制の見直しなど、政策の質の向上が問われている今、議員の方々に、関連施設での「体験実習を」ご提案いたします。具体的には、行政区内の特養・デイサービス、グループホーム、授産所、幼・保育所等で職員との「協働体験」を行うというものです。

従来の「視察」では見る側も見られる側も形式感があり実態を共有することは困難です。一定の時間、職員と同じ目線で介護や保育を体験し、生身の人間同士のスキンシップによってのみ見えてくる大変さや喫緊の課題などを具体的に把握するのが目的です。

こうした体験によって得た



菊地さんの作品

理解しながらも、あえて実のある福祉の実現のためにご賛同いただければ幸いです。

第二点は、中心市街地から遠い地域に暮らす人たちの交通手段の確保という問題です。最近とくに多い高齢者による交通事故や、移動のアシを待たない老人の買い物難民・受診難民化といった問題ともリンクしますが、こうした交通弱者の行動をサポートする巡回バス等の運行対策です。

遠隔地であるがゆえに町の祭りやイベント等への参加もできない。あるいは図書館や公民館へ行くこともままならない現状では、行政サービスの平準化は望めません。交通

編集後記

地方自治は首長と議員の二元代表制である。だが、議会審議は形骸化し首長の追認機関と揶揄されることもあり得ます。

そうなる議会には住民に見放されてしまいます。極論ですが、地方議会はいらないとか、定数を減らせという議会不要論まで出てしまいます。

民主主義の原則は多数決です。しかし少数の意見も尊重しなければなりません。

一億総活躍、地方創生の時代、議会と町長は互いの役割を尊重しつつ共通の目標である町民福祉の向上や町政の進展に取り組むべきである。

格差が生きているの格差につながらないような、配慮をお願いできればと考えております。家族の高齢化に伴い、身近に介護や福祉行政との接点に思いが及び、率直に申し述べさせていただきました。よろしくお願いいたします。

特に議会は、活発な議論を通して多様な民意を反映させなければなりません。そのためには議員は研鑽を積まなければなりません。

そうでなければ丸山眞男氏が言っているように「民主主義にあぐらをかいて」といって民主主義はほろびる」といったことになりかねません。

発行責任者
議長 渡辺 定己

広報編集委員会
委員長 小林 政次
副委員長 木原 秀男
委員 橋本 喜一
委員 古川 文雄
委員 菊地 洋
委員 長田 守弘



CM大賞表彰式にて

鏡石ブランド発信 CM大賞受賞

地域の魅力を盛り込んだCMの完成度を競う「ふくしまの元気！応援CM大賞2015」において鏡石町の作品が見事大賞を受賞しました。コンクールには県内36市町村と県が参加。当町の作品「フシギなイキイキ」がユーモアとテンポの良さで評価されました。このCMは年間120本福島放送で無償放送されます。町のブランドが電波によって発信されます。



魅力あるまちづくり実行委員会

かがみい
議会だより

No. 159
平成28年2月
発行 福島県鏡石町議会
編集 議会広報編集委員会
〒999-0401 福島県岩手郡鏡石町
不時沼345
電話0248(62) 2110
印刷 (株) 永山印刷

マイナンバー法施行

個人情報提供条例制定

10議案を原案どおり可決



第2回町議会定例会は12月7日(月)から11日(金)までの5日間開催し、新条例案1件を含む10議案を原案どおり可決しました。今定例会では、平成28年1月から施行されるマイナンバー制度に伴う町民の個人番号の利用や情報提供に関する条例が新たに制定されました。今後、様々な利用が期待されているマイナンバー制度。適正かつ正確な制度運用が執行されるよう望まれます。



改修工事が進む中学校

マイナンバーで新条例

12月議会定例会では、マイナンバー法施行に伴い新条例「鏡石町個人番号の利用及び特定個人情報提供に関する条例」を可決しました。これにより主に地方税関係の情報等が適正に処理されることとなります。

条例改正2件

条例改正は2件あり、まず「鏡石町東日本大震災復興交付金基金条例の一部改正」は、災害公営住宅の家賃補助等の期間について「平成28年3月31日」までだったものを「平

成33年3月31日」までに期間延長するものです。次に「鏡石町税条例の一部を改正する条例の一部改正」は、マイナンバー法の施行に伴い条例の字句を改正するもので、両案とも原案どおり可決しました。

補正予算・変更契約

補正予算は一般会計外5会計において補正予算を原案どおり可決しました。一般会計では総額1億8621万円の増額補正予算を可決。このうち4132万円は土地取得事業特別会計に繰出され、工業団地造成のために借入れた土地開発公社からの借入金に返済されます。

この外変更契約議案が1件あり、「鏡石町立鏡石中学校校舎耐震補強・大規模改修工事変更請負契約」を原案どおり可決しました。

- (変更前) 2億6892万円 (変更後) 2億7898万5600円 (契約相手) 高田工業株式会社

請願2件・陳情4件 各常任委員会で審議

- 12月定例会には請願2件と陳情4件が提出され、総務文教常任委員会(菊地洋委員長)と産業厚生常任委員会(長田守弘委員長)に、それぞれ所管する案件を次のとおり付託し、審議しました。
・ 総務文教常任委員会
・ 陳情第1号 公立小中学校の教職員数の充実・確保を求める意見書の提出を求める陳情
・ 産業厚生常任委員会
・ 請願第1号 重度心身障がい者医療費助成制度に関する請願
・ 請願第2号 子どもの放射線被ばく検査に関する請願
・ 陳情第2号 土壌測定プロジェクト参加に関する陳情
・ 陳情第3号 土壌の放射性物質測定に関する陳情
・ 陳情第4号 水の放射性物質測定に関する陳情



総務文教常任委員会



産業厚生常任委員会

した結果、請願第1号は継続審査、請願第2号は不採択となりました。陳情については第1号が採択、第2号から第4号は不採択となりました。審査結果は翌11日(金)に本会議において各常任委員長から報告され、委員長報告のとおり決しました。

意見書1件可決



菊地総務委員長が意見書説明

採択された陳情第1号については、その内容を意見書案として菊地洋総務文教常任委員長が提出。本会議において審議し、原案どおり可決しました。

第2回臨時議会

第2回鏡石町議会臨時会は、平成28年1月21日(木)午前11時30分に開催しました。本会議に先立ち、午前10時30分から議会運営委員会(古川文雄委員長)を開き臨時会の日程等を協議。午前11時から臨時会全員協議会において町執行より議案内容が説明されました。



介護事業の充実を



長田守弘議員

一般質問

- 中学校工事の安全対策は
- 教室の利用はどうなっているか
- 校庭と周辺環境設備を
- ふるさと納税推進すべきではないか

質問 教室数が少なく、特別教室を利用して授業を行っているが、十分な対応がとれているか。

教育長 避難経路については、学校で定めている。移動した教室等の場所に合わせて経路も変更した。緊急時には教職員の誘導により、校庭へ避難することになっている。

教育長 部分的に暗渠排水管敷設や側溝の清掃を行っている。今後、校庭全体の水はけが良くなるように、国の補助金や町の財政状況を踏まえながら整

質問 校庭の表土除去後、水はけが悪くなり改修しようだが、あまり改善されていないようだ。特に南側の側溝に雨水が流れにくくなっているようにだが、改修するべきでないか。

総務課長 今年度43件で、個人41件、団体2件となっている。昨年比21件の増である。1万円以

質問 ふるさと納税と返礼品の対象となる納税状況は、どうなっているのか。

町長 国も企業版のふるさと納税も検討しているようだ。いずれのふるさと納税も、貴重な財源として取り組みたい。

質問 東側校舎の教室が移動されているが、緊急時の避難誘導はどのようにするのか。

質問 校庭の表土除去後、水はけが悪くなり改修しようだが、あまり改善されていないようだ。特に南側の側溝に雨水が流れにくくなっているようにだが、改修するべきでないか。

質問 中学校体育館も老朽化が進み、修繕が必要ではないかと考えるがどうか。

質問 各メディアもふるさと納税を伝えており、返礼率も上がっている。積極的に取り組むべきでないか。

質問 中学校校舎の耐震補強及び大規模改修工事が行われているが、生徒、教職員への安全対策はどうなっているか。

質問 除染後の旧テニスコートは駐車場で利用しているが、舗装する考えはないか。

質問 今後中学校南側も住宅地となるので、防球ネット等の安全対策も必要だと考えている。ランニングコースは整備内容の一つとして検討したい。

質問 町民が他市町村へふるさと納税制度で納税し、所得税の還付申告を行った人数と還付された金額は、どうなっているか。

質問 工事現場内に、工事関係者以外が出入りできないように行っている。また、敷地内では工事車両と生徒、教職員が接触しないよう別々の出入口を設けている。

質問 特別教室棟の外側に流し台を設置して、教育環境や学校生活に支障が出ないように十分な対応をしたい。

質問 中学校周辺に防球ネットやランニングコースを設置してはどうか。

質問 上の個人に特産品を贈呈している。

審議の結果（第2回 定例会）

議案件名等	議案の概要	小林	吉田	橋本	古川	菊地	長田	畑	井上	大河	今泉	木原	渡辺	結果
東日本大震災復興交付金基金条例の一部を改正する条例の制定について	「平成28年3月31日」を期限とした条例の期限を「平成33年3月31日」に改めるもの	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可決
鏡石町税条例の一部を改正する条例の一部を改正する条例の制定について	マイナンバー制度施行に伴う字句の改正	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可決
鏡石中学校校舎耐震補強・大規模改修工事変更請負契約の締結について	設計一部変更に伴う請負契約金額の変更(変更前)268,920,000円 (変更後)278,985,600円	○	×	○	○	○	○	○	○	○	○	×	○	可決
<p>○吉田議員「主たる変更部分での増額の説明だったが、その他の部分での変更はないのか」 A教育課長「バルコニー手すりの変更のみである。その他は契約内での軽微な変更である」 ○吉田議員「中学校の要望は変更前の契約で行われたのか」 A教育課長「契約内での軽微な変更であった」 ○吉田議員「軽微なものの中に校舎のセンターラインがあったが、以前これは不必要ではないかと意見した。中学校と協議したのか」 A教育課長「中学校と協議し、廊下のセンターラインは規律ある生徒指導に必要不可欠であるということになった」 ○今泉議員「校舎の耐震改修は必要だが、10月の段階で煙突やセンターラインも含め13,000千円増の説明があった。今回10,065千円の変更だが、以前との差はどのようになっているのか。詳細明確な説明があって然るべきであろう。全員協議会でもよいができないか」 A教育課長「手すり工事が主なものであったが、床工事等には減額があり今回の金額となった」 <<賛成討論・要旨>> 吉田議員「廊下のセンターラインには反対の意見を申し上げた。無駄遣いをしておきながらさらに、増額補正することは好ましくないと判断し、反対する」</p>														
鏡石町個人番号の利用及び特定個人情報の提供に関する条例の制定について	マイナンバー制施行に当たり、個人情報の利用や情報提供に関して、適正な取り扱いを確保するための条例を制定するもの	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可決
一般会計補正予算(第3号)	成田地区ほ場整備支援事業等186,210千円増額	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可決
<p>○木原議員①「東京電力損害賠償金は何か」②「防犯灯の設置場所は何か」 A①総務課長「損害賠償金は町民税の減少分の53%」②総務課長「防犯灯は4カ所に設置する」 ○今泉議員①「道路維持費4,100千円の補正について、成田376号線で増額が大きい何が特別な理由があるのか」②「社会体育施設整備600千円の内容は何か」 A①都市建設課長「道路については旧成田幼稚園から県道への暗渠が詰まっているため、開渠にするものである」 ○教育課長「社会体育施設整備費は成田グラウンドの遊具の撤去と修繕費である」 ○吉田議員①「マイナンバー関連負担は国の補助金か」②「障害者福祉の給付費増額は、今後どうするのか」③「監査委員報酬増額補正の理由は何か」④「私立幼稚園奨励費補助金増額補正の理由は何か」⑤「図書館臨時職員は何故増員になったのか。いつ採用して、いつまで雇用するのか」 A①総務課長「10/10の補助金で、1月から施行される」②健康福祉課長「障害者扶助費は予想よりも対象者が増加したためである今回は11月までの実績から推計した。③総務課長「監査委員が変更になったことによる調整である」④健康福祉課長「私立幼稚園奨励費は対象者が増加した。また第3子に対する国庫補助も増えた」⑤教育課長「図書館の臨時職員として図書の出発業務を行う。任期は4/1から3/31までとなっている」 ○吉田議員「監査委員報酬の増額理由は何か」 A総務課長「交代した委員の任期により1カ月重複するものである」</p>														
国民健康保険特別会計補正予算(第3号)	高額療養費等32,924千円増額	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可決
介護保険会計補正予算(第2号)	介護サービス給付費等119,590千円増額	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可決
<p>○吉田議員「介護サービス117,100千円増で、介護予防1,880千円減の理由は何か。それらの対策は次年度予算にどう反映させるのか」 A健康福祉課長「増額は認定者が当初推計を上回った。予防サービスの減額は見込みよりも少なかったことによる。今後、介護度4から5の認定者の推計を慎重に行いたい」</p>														
土地取得特別会計補正予算(第1号)	土地開発基金繰出金41,320千円増額	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可決
公共下水道会計補正予算(第2号)	流域下水道管理負担金等7,672千円増額	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可決
下水道会計補正予算(第1号)	浄水場及び取水施設修繕等919千円増額	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可決
重度心身障がい者医療費助成制度に関する請願	重度心身障がい者医療費助成制度が適用される場合、窓口における一部負担金の支払いを免除することにより、その制度の簡便化を図ることを求めるもの	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	継続審査
子どもの放射線被ばく検査に関する請願	福島県県民健康調査における検査項目を補充するために、町が独自に定める放射線被ばく検査の実施を求めるもの(尿セシウム検査、染色体・遺伝子レベルでの内部被ばくによる人体への影響を評価するための血液検査)	×	○	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	不採択
公立小中学校の教職員数の充実・確保を求める意見書の提出を求める陳情	子どもたちへのきめ細やかな指導を維持・向上させるため、公立小中学校の教職員数を充実・確保することを求めるもの	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	採択
土壌測定プロジェクト参加に関する陳情	東日本土壌ベクレル測定プロジェクトに町として参加し、協力者を募り、宅地や農地などの土を運送する際の送料を補助することを求めるもの	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	不採択
土壌の放射性物質測定に関する陳情	町内の宅地や農地、学校などの公共施設について、土壌の放射性物質汚染状況をセシウム以外も詳細に測定し、公表することを求めるもの	×	○	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	不採択
水の放射性物質測定に関する陳情	町内の上水道や、農業用水、河川などに含まれる放射性物質について、その汚染状況をセシウム以外も詳細に測定し、公表することを求めるもの	×	○	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	不採択
公立小中学校の教職員数の充実・確保を求める意見書	子どもたちへのきめ細やかな指導を維持・向上させるため、公立小中学校の教職員数を充実・確保することを求める意見書	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可決

* 渡辺議長は採決に加わらないため空欄

審議の結果（第2回 臨時会 平成28年1月21日）

議案件名等	議案の概要	小林	吉田	橋本	古川	菊地	長田	畑	井上	大河	今泉	木原	渡辺	結果
介護保険条例の一部を改正する条例の制定	翌年4月施行予定であった改正介護保険法施行に伴う新事業を本年3月から実施するもの	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可決
介護保険会計補正予算(第3号)	新事業開始予定を翌年4月から本年3月にしたことによる予算の組替	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可決
<p>○今泉議員「管内11市町村が12月議会で改正している。何故鏡石町だけがこのような事案が発生したのか。事務執行上の問題があったと感じざるを得ない。原因と対応策はあるか」 A町長「内容を把握したのが12月議会に間に合わない時期だった。事務が煩雑になっていることから、4月に向けて事務組織を改善したい」 ○吉田議員①「内容は管内担当者会議で分かったようだが、他自治体は何故開始時期を早めることにしたのか」 ②「事務体制特に、保健師の体制整備が必要だと思うがどうか」 A①健康福祉課長「開始を早めたのは専任職員を配置し、早めに情報収集したことによると考えられる」 A②町長「保健師は1名増員した。今後しっかりした体制で事業執行したい」 <<賛成討論・要旨>> 吉田議員「介護サービスの早急な充実が必要不可欠である。介護予防日常生活支援総合事業の前倒し実施の提案は称賛すべきもの。当該事業を早期導入する本議案に賛成の意を表す」</p>														

* 渡辺議長は採決に加わらないため空欄



小林政次議員

- 生活道路の改善整備を
- ゴミ不法投棄の実態は
- 新興住宅地の公園整備を
- 施設入居在宅福祉の対策は

一般質問

質問

杉林から中学校へ抜ける町道262号線は、杉林団地造成時から利用者が多いが、車のすれ違いが来ず、地区住民は困っている。改良計画は

質問

平成26年度から蓋がけを実施しており、今後も継続する予定である。

都市建設課長

町道鏡田17号線の側溝蓋がけは、部分的にしか行われていない。今後蓋がけを行う予定はあるか。

質問

町道笠石211号線のため池近辺道路は、先の震災で応急処置はしてあるものの、漏水個所や凸凹があり、通行車両による振動や音が大きい。こうした騒音対策等はどのようにしていくのか。

質問

旭町地区には民間の新興住宅街が出来ており、子どもも増えている。公園整備が必要でないか。

都市建設課長

現在公園設置は予定していないが、隣接する区画整理事業地で3千mの公園設置を予定している。

質問

町内にはタイヤ等の不法投棄が見られる。人家に近く、これは害虫が発生して困っている。緊急的な対応も含めて、どのように対応していくのか。

質問

町内でも岡の台や仁井田地区で事案が多い。町でもトラロープや看板を設置している。今後、県及び産業廃棄物監視員連携のもと解消に努めたい。

健康福祉課長

町内でも岡の台や仁井田地区で事案が多い。町でもトラロープや看板を設置している。今後、県及び産業廃棄物監視員連携のもと解消に努めたい。

健康福祉課長

町内でも岡の台や仁井田地区で事案が多い。町でもトラロープや看板を設置している。今後、県及び産業廃棄物監視員連携のもと解消に努めたい。

健康福祉課長

町内でも岡の台や仁井田地区で事案が多い。町でもトラロープや看板を設置している。今後、県及び産業廃棄物監視員連携のもと解消に努めたい。

健康福祉課長

町内でも岡の台や仁井田地区で事案が多い。町でもトラロープや看板を設置している。今後、県及び産業廃棄物監視員連携のもと解消に努めたい。

健康福祉課長

町内でも岡の台や仁井田地区で事案が多い。町でもトラロープや看板を設置している。今後、県及び産業廃棄物監視員連携のもと解消に努めたい。

健康福祉課長

町内でも岡の台や仁井田地区で事案が多い。町でもトラロープや看板を設置している。今後、県及び産業廃棄物監視員連携のもと解消に努めたい。

- 町民の声を町政に反映する取組は
- 在宅医療ケアの積極的推進を
- チャレンジ精神を促す文化事業は
- 手抜き工事等の事例はあるか

質問

先町の町議会議員選挙において特定の候補者が行政区長を伴って、挨拶回りを行い、公平性が欠けていたと思うが、町としては、これにどのような

質問

町政懇談会は平成24年に開催し、総合計画や震災復旧・復興計画について町民に直接説明、意見交換した。懇談会の必要性は十分理解している。開催を検討したい。

総務課長

町政懇談会は平成24年に開催し、総合計画や震災復旧・復興計画について町民に直接説明、意見交換した。懇談会の必要性は十分理解している。開催を検討したい。

質問

町民の意見を参考に町政に反映させるべく、町政懇談会を各行政区において開催する考えはあるか。

質問

町民の意見を参考に町政に反映させるべく、町政懇談会を各行政区において開催する考えはあるか。

町長

住民と行政がそれぞれの役割と責任を明確にし、相互の連携と協力により、地方自治の主旨に即したまちづくりを進めたい。

質問

地方自治の本旨を鑑みて地方分権に対する町長の見解を問う。



吉田孝司議員

選管書記長(総務課長)

匿名の情報が寄せられたため、行政区長として疑わしい行為は控えるよう注意した。

質問

町職員について町民が十分満足する接客サービスをさせるために、内部・外部の接遇研修あるいは、町独自の何らかの工夫や取組みはされているのか。

質問

町職員が、町民個々のニーズや諸事情を鑑み、その要望に応じて各戸に赴いて、個別的に行政事務を遂行していく住民目線での行政サービスを行っていく姿勢はあるか。

総務課長

現在の職員数は百名で様々な事務事業を行っている。職

質問

町青少年町民会議では少年の主張をはじめ、各区の青少年活動を支援している。また学校応援団事業により、各学

教育長

町青少年町民会議では少年の主張をはじめ、各区の青少年活動を支援している。また学校応援団事業により、各学

質問

町青少年町民会議では少年の主張をはじめ、各区の青少年活動を支援している。また学校応援団事業により、各学

都市建設課長

地区住民の不便さは認識している。当該道路は駅東土地区画整理事業区域となっており、今後区画整理事業と合わせて道路改良について検討を進めたい。

質問

旭町地区には民間の新興住宅街が出来ており、子どもも増えている。公園整備が必要でないか。

都市建設課長

現在公園設置は予定していないが、隣接する区画整理事業地で3千mの公園設置を予定している。

質問

町内にはタイヤ等の不法投棄が見られる。人家に近く、これは害虫が発生して困っている。緊急的な対応も含めて、どのように対応していくのか。

質問

町内でも岡の台や仁井田地区で事案が多い。町でもトラロープや看板を設置している。今後、県及び産業廃棄物監視員連携のもと解消に努めたい。

健康福祉課長

町内でも岡の台や仁井田地区で事案が多い。町でもトラロープや看板を設置している。今後、県及び産業廃棄物監視員連携のもと解消に努めたい。

健康福祉課長

町内でも岡の台や仁井田地区で事案が多い。町でもトラロープや看板を設置している。今後、県及び産業廃棄物監視員連携のもと解消に努めたい。

健康福祉課長

町内でも岡の台や仁井田地区で事案が多い。町でもトラロープや看板を設置している。今後、県及び産業廃棄物監視員連携のもと解消に努めたい。

健康福祉課長

町内でも岡の台や仁井田地区で事案が多い。町でもトラロープや看板を設置している。今後、県及び産業廃棄物監視員連携のもと解消に努めたい。

健康福祉課長

町内でも岡の台や仁井田地区で事案が多い。町でもトラロープや看板を設置している。今後、県及び産業廃棄物監視員連携のもと解消に努めたい。

健康福祉課長

町内でも岡の台や仁井田地区で事案が多い。町でもトラロープや看板を設置している。今後、県及び産業廃棄物監視員連携のもと解消に努めたい。

健康福祉課長

町内でも岡の台や仁井田地区で事案が多い。町でもトラロープや看板を設置している。今後、県及び産業廃棄物監視員連携のもと解消に努めたい。

健康福祉課長

町内でも岡の台や仁井田地区で事案が多い。町でもトラロープや看板を設置している。今後、県及び産業廃棄物監視員連携のもと解消に努めたい。

健康福祉課長

町内でも岡の台や仁井田地区で事案が多い。町でもトラロープや看板を設置している。今後、県及び産業廃棄物監視員連携のもと解消に努めたい。



四国三県を巡る



瀬戸内海に面した絶好のロケーションにある「道の駅うたづ」（香川県宇多津町）

平成27年度の行政視察研修は10月27日（火）～29日（木）まで四国徳島県美波町・美馬市・高知県本山町・香川県宇多津町で実施しました。

今回の研修地のほとんどが交通の優位性を標榜する当町からすると、不便性はぬぐうべくもなく、その分野で高評価を事前に見聞するに、疑問がわくと同時に、ほとんど絶望感を感じるものであったが、研修を終えて、その素晴らしき取り組みに感動を覚えた。

○徳島県美波町
美波町の伊座利地区の地域振興とまちづくりについて研修『伊座利の未来を考える推進協議会』の取組みは「地域の為になることなら、できることは何でもやる！」の精神で、住民100人で創意工夫して交流人口2万人を生み出している事に、住民の静かなる闘志と絶対的な自信を感じることができた。

○徳島県美馬市木屋平地区
地域包括ケア事業を研修した美馬市の木屋平地区は、陸の孤島の言葉がマッチする大変山深い地域で、役所・診療

所・NPO法人などが核となり組織を動かし、システムの構築に尽力している様が他の地域とは別物であると感した。

○高知県本山町
高知県本山町の研修は、汗見川地区で農作物「しそ」を使ったアイスキャンデーを町内の製菓会社と共同試作し6次化への実績も出ている。

住民生活と経済性を連携しながら活動していることは大変参考になった。



100人のまちづくりを研修（徳島県伊座利）

研修は駆け足となったが、民間企業の営業マンだった所長の逆転の発想「地元産物を販売していない道の駅」には驚きを感じ「夢を売る」「地域のPR」といった非採算性のバランスを考えることの重要性を認識した。

まちづくり、地域包括ケア、集落活動センター、道の駅の研修で各地域の真摯な取組みに接し、本格復興を目指す鏡石町のまちづくり戦略について、大いに参考となった。

研修した一つひとつを今後の議会活動に活かし、より良いまちづくりに努めたい。



地域医療の要「診療所」（徳島県美島市木屋平）

常任委員会事務調査

議会常任委員会の所管事務調査は、総務文教常任委員会（菊地洋委員長）が平成27年11月4日（水）・5日（木）に、産業厚生常任委員会（長田守弘委員長）が平成27年11月9日（月）・10日（火）にそれぞれ実施しました。

総務文教委員会

総務文教常任委員会の事務調査は宮城県女川町の「震災復興事業」と柴田町の「文化施設等の管理運営」について視察調査を実施しました。女川町は震災により大規模



高台から工事状況を視察（女川町）



文化施設の管理運営を研修（柴田町）

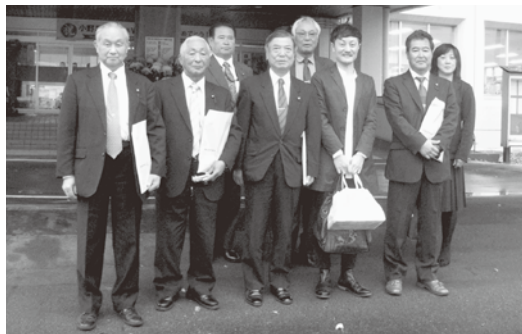
な被害を受け、災害廃棄物は通常の115年分に及んだ。津波によって被害を受けた200ha以上の区域を短期間で復興する為に採用された工事手法CM（コントラクションマネージャー）方式によって調査・測量・設計・施工がほぼ同時進行で行われており、迅速な事業が展開されていた。

柴田町では「ふるさと文化伝承館」をはじめ4つの施設が一体的に運営管理されている「しばたの郷土館」及び、併設されている図書館の町民ボランティアによるサポート委員会についても調査研修しました。

産業厚生委員会

産業厚生常任委員会の事務調査は、新潟県南魚沼市の「個性的なまちづくり」と十日町市の「地域資源とまちおこし」について視察調査を実施しました。

南魚沼市では観光地を背景にした美少女を中心とした、デジタル重視の観光パンフレット「美女旅」について調査。市内の女性が普段着でモデルとなり周遊スポットを紹介することで、同じ場所等に「行ってみたい」と思わせる手法が話題を呼んだ。



「美女旅」の発案者（右から3人目）と（南魚沼市）



廃校を利用した絵本と木の実の美術館（十日町市）

十日町市では「大地の芸術祭」を調査研修。現代アートをコンテンツとして地域ブランドの確立に挑戦。世界的なアーティストが応募するような国際的芸術祭に発展した。アートが地域ブランドになり得るという信念を貫き通すと同時に、地域との粘り強い対話が事業を成功へと導いた。



施設の説明を受ける（道の駅いたこ）

岩瀬地方議員協議会 子育て支援。道の駅研修

鏡石町と天栄村で構成する岩瀬地方町村議会議員協議会（渡辺定己会長）視察研修は12月2日（水）3日（木）の2日間、茨城県の利根町と潮来市において実施しました。

利根町では「子育て支援事業」、潮来市では「道の駅いたこ運営事業」について直接町長や担当課長そして事業者から説明を受け、子育て支援による移住者受入促進や、道の駅を核とした観光交流人口拡大等の事業効果を研修しました。